

2月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産は順調であり、生産量は今後増加する見込みである。各地区の入荷はスギ、ヒノキとも順調であるが、県北西地域で降雪の影響により搬出待ちの現場が見られる。間伐材、小径木も順調な入荷である。製材工場の材の引き取りは良好。スギは柱物、中目ともに保合、ヒノキ柱物は1,000円/m³の値下がり、中目は弱保合で推移している。ここに来てヒノキ3m材が全般的に売りづらい状況になっている。

群馬県では降雪が少ないため原木集荷は容易になったが、2/5は降雪があった。国有林からの出材が多い。製材工場の原木在庫は100%に回復した。首都圏の製品市場からの受注は相変わらず低調である。仕事は出始めたが、細かく例年の7割程度。プレカット工場も仕事が少なく目処が立たない。全ての製品の売れ行きが悪いため、製品在庫が多い。製品価格、売れ行きとも依然として厳しい状況が続いている。

2. 米材

北米大手のWest Fraser社が米国南部の2工場の永久閉鎖、無期限閉鎖の発表(1/9)に続き、カナダBC州の1工場の永久閉鎖を1/22に決定した。原料供給面からカナダBC州での工場閉鎖は数年前から予想されていたが、本格化してきた。米国の港頭在庫は日本大手米マツ製材の取引量の減少もあり潤沢。カナダでも伐採期に入り、港頭在庫は平常に戻りつつある。米マツIS級並の2月積み対日輸出価格は未確認情報ながら前月比横ばいの\$940/千SCRで決着した模様(Weyerhaeuser社と中国木材の成約価格が公表されなくなり推測の域を出ない)。12月の米国新設住宅着工数は前月比6.4%減の年率換算146.0万戸となった。産地の製材品価格はほぼ横ばい推移である。ランダムレンジス紙発表の15種平均価格(2/6)は\$389/M、1月頭に比べ2.8%の下落。

12月原木入荷は121千m³となり、10、11月に比べ若干盛り返した。1～12月累計では1,721千m³、前年同期比22.4%減。出荷は120千m³とほぼ入荷と同量。1～12月累計は1,747千m³で前年同期比21.2%減。在庫は国内移送分を含め179千m³と前月より増加、在庫率は1.30ヵ月となった。東京木材埠頭の1月製品入荷は15千m³(前月比16.6%増)、出荷は11千m³(同16.8%減)、在庫は37千m³(同10.3%増)。中国木材の鹿島工場停止による製品生産減少と

輸入集成材の在庫減少により供給サイドは減少しているが、新設住宅着工などの需要サイドも大きく減少しているため、国内米材製材メーカーへの発注は低調である。

3. 北洋材

シベリア産地では冬山伐採期に入ったが、12～1月の厳冬の影響もあり、原木生産量は回復していない。中国市場は引き続き不振。日本向けの価格は若干回復したが、製材生産意欲は低調。アカマツ原板の新規オファー数量は極めて少ない。アカマツ完成品は日本からの引き合いが増加しているが、円安もありドル価格のアップに日本のバイヤーは慎重な姿勢である。30×40の良材は90,000円/m³を超えてくる見込み。アカマツ野縁製品の流通在庫は一段と減少しているが、実需の盛り上がりは少なく、市況が活発化する見込みは薄い。国内の北洋材製材メーカーでは荷動きが回復しているが、手持ち原板在庫・契約残が減少しており、全ての注文に対応できない。新規原板の手当てに動きたいが、オファーが少なく、価格高騰で集材に苦戦。

12月の製品入荷(東京+川崎)は10.4千m³で低水準が続いており、今後も増加は見込めない。出荷は14.3千m³で前月比で減少しているものの好調。在庫は25.7千m³で前月比減少。2024年のロシア製品入荷量は45万m³程度で2023年(約47万m³)よりも減少すると予想されている。

4. 合板

合板メーカーでは原木の受入制限を継続しているが、仕入価格は保合で推移。生産調整を続けており、住宅需要の不振を反映して消化が遅いため、メーカーでは同水準の生産を継続する見込みである。

12月の国内合板生産量は22.1万m³、うち針葉樹合板は21.7万m³、出荷量は21.6万m³で在庫量は16.4万m³となり、うち構造用合板の在庫は13.4万m³で前年に比べ高水準な在庫状況が続いている。針葉樹合板は例年の不需要期に入り、非住宅物件も落ち着いてきたため、1月半ば以降、荷動きに停滞感が出ている。大口のプレカット工場向けなどでは下値も見られ、価格はばらばらついている。能登半島地震による仮設住宅向けの引き合いが見られ、今後は住宅の応急的な補修のほか、仮設住宅向けの需要が出てくるとの見方もある。12月の合板輸入量は前月比1.6万m³減の18.4万m³となり、主要国ではマレーシアが減少した以外は横ばい。輸入合板は流通業者によって手持ち品目に差があっても、国内在庫は満遍なく減少傾向にあり、次回の入荷まで現物在庫を手当てして凌ぐ商社も見られる。産地では雨期のため原木が入荷しづらく、原木在庫が切れて一時稼働を休止した工場もあった模様。日本の国内在庫が

減少するなか、当面の供給を不安視する声も聞かれる。

5. 構造用集成材

1月のラミナ入荷量は通常の5~6割程度と少なく、在庫量は例年通りに戻りつつある。第4・四半期契約は欧州の休暇の影響でオファー減となり、今後も入荷量は減少傾向と予想される。スエズ運河の使用取り止めが相次ぎ、ラミナの欠品が懸念される。2月入港予定分から1カ月の遅れが見込まれる。現在入港の第4・四半期契約価格は€260~280/m³程度。為替は円安傾向にあり、輸入コストが上昇する可能性もある。構造用集成材の12月入港量は44,811 m³であり、ここ5年間で最低の数量となった。

6. 木材チップ(東海)

原木は製紙・バイオマス発電用とも小径材の引合が強い。暖冬の影響で入荷は順調だが、需要が多く慢性的に不足感は強い。燃料材は年末から解体物件の減少が続いている。製紙用チップは一部大手で減産・操短(80~90%)を継続しており、消費は振るわない。燃料用チップは大手製紙の発電用ボイラーでの火災の影響があるものの、全体的に消費は堅調に推移している。能登半島地震による大量の災害木(木屑)が今後発生してくるが、品質の問題もあり、燃料に使用可能か否か未だ見通しが見えない状況である。

7. 市売問屋

材木店の仕事量が少なく、不足材がないため構造材は国産材、外材ともに活気がない。造作材もほんの一部しか動いていない。外材に値上げ攻勢の感があるが、材木店は冷静な態度を取っている。東北地方では降雪の影響により製材工場の稼働が低下している模様である。

8. 小売

首都圏では住宅需要の不振に加え、集合住宅や非住宅は年度末までの引き渡しが落ち着いたためか、プレカット工場の稼働率は平均で70%台まで落ち込んでいる。国産材構造材には不足感が全くなく、スギ、ヒノキとも弱保合で推移。外材製品ではWW製品の不足感が出ており多少の引き合いがある。欧州産地の生産減少に伴うラミナ不足、スエズ運河迂回による入荷遅れから国内メーカーはWW集成管柱の値上げに動きそうだ。造作材の荷動きは盛り上がり欠けるが、店舗関係でヒノキ、スギの節有り材には注文が入っている。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和6年2月16日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	→
北洋材	丸太	輸出禁止	*	*
	製材品	→	→	→

注)北洋製材品は東京・川崎

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	↘
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角(KD)12.0×12.0×4m 特等	→			
ヒノキ土台角(KD)12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			SPF 2×4 J-Grade R/L	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→
米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→			
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↗
			アカマツ(KD)24×28積木	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 間柱 3.0×10.5×3m S4S FOHC	↗
			ホワイトウッド' ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド' 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘